

## 平成23年度第7回教育研究評議会議事要旨

日時 平成23年11月18日（金）15時30分～17時22分  
場所 本部2階大会議室  
出席者 佛淵学長、瀬口理事、中島理事、岩本理事、宮崎理事、上野文化教育学部長、濱崎医学部長、林田工学系研究科長、藤田農学部長、稲岡附属図書館長、遠藤教養教育運営機構長、後藤医学部附属病院副病院長、門出海洋エネルギー研究センター長、福本評議員、平地評議員、齋藤評議員、中島評議員、大島評議員  
欠席者 富田経済学部長  
オブザーバー 川上監事 他

### ○ 前回議事要旨について

学長から、平成23年度第6回教育研究評議会議事要旨（案）を評議員に送付、確認したところ、加除・修正等の意見はなかったため、原案のとおり確定し、本日確定版を机上配付している旨、報告があった。

### ○ 審議事項

#### 1. 教育職員の休職について

文化教育学部長から、教員の病気による長期休養を要する案件であり、審議いただきたい旨の説明があり、審議の結果了承された。

#### 2. 学生の懲戒について

瀬口理事から、医学部学生が未成年学生へ飲酒を勧めたという非違行為に関する案件である旨の説明があった。

また、医学部長から、本件が発生した状況及び処分内容について補足説明があった。

この件に関して、飲酒した未成年学生への処分、また当該イベントを企画した学生団体への処分等はどうなるか質問があり、医学部長から、飲酒した未成年学生に対しては厳重に注意を行うこと、イベント自体は来年度も継続するが飲酒に関しては企画する学生団体に対し十分に注意を行うこととしている旨の回答があり、審議の結果了承された。

なお、本件に関連して、工学系研究科長から年末年始にかけて飲酒する機会が増えるため、注意喚起を行う予定である旨の報告があり、学長から、工学系研究科に限らず、他の学部でも注意を呼びかけてほしい旨の発言があった。

#### 3. 平成24年度学年暦及び年間行事予定表（案）について

教務課長から、平成24年度の学事の基礎となる学年暦及び年間行事予定に関する案件であり、審議いただきたい旨の説明があり、審議の結果了承された。

なお、大学教育委員会にて、予備日の設定について議論があり、平成25年度学年暦を検討する際には、予備日の土曜日設定について検討することとしている

旨の発言があった。

4. 佐賀大学全学教育機構教員組織及び教育・支援組織の編成と教員配置の当面の方針（案）について

瀬口理事から、全学教育機構の運営に必要な人材を確保するため、教員組織及び教育・支援組織の編成と教員配置に関して、平成25年度までの期間限定で定める方針に関する案件である旨の説明があった。

諸泉全学教育機構副機構長から、この方針についての補足及びスケジュールの説明があった。

この件に関して、高等教育開発センター特任教員及び留学生センターネイティブ教員の身分等については変更あるかとの質問があり、業務内容等含め変更ないが今後全学教育機構で必要に応じて検討する旨の回答があった。

また、協力教員の科目の提供状況によっては、学部の負担が大きくなる可能性があるが、その処遇等はどうかとの質問があり、今後全学教育機構で具体的なデータを基に比較、検討を行うとの回答があった。併せて、併任教員の依頼に関する調整については、必要に応じて教育改革推進部会にて調整することが確認され、審議の結果了承された。

5. 東日本大震災で被災された平成24年度佐賀大学志願者への検定料免除の特例措置について

入試課長から、東日本大震災被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、平成24年度学部入学者選抜試験に限り、検定料免除の特例措置を実施するための学則を制定する案件であり、審議いただきたい旨の説明があり、審議の結果了承された。

○ 報告事項

1. 平成22年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

岩本理事から、平成22年度に係る業務の実績に関する評価の結果について、国立大学法人評価委員会より通知があった旨の報告があった。

2. 神集島合宿研修所施設改修について

学生生活課長から、唐津の神集島に設置された合宿研修所の整備について、平成24年1月から改修を開始し、6月にリニューアルする予定である旨の報告があった。

3. 平成23年度「優秀科学技術研究賞」並びに「優秀芸術文化賞、社会文化賞及び学術賞」の選定について

中島理事から、平成19年度から実施している、将来性のある研究者・研究チームの重点育成・支援計画により、平成22年度実績に基づき、優秀科学技術研究賞1名、社会文化賞1名を選定した旨の報告があった。

4. 平成24年度科研費申請件数について

研究協力課長から、平成24年度の科学研究費助成事業への申請状況について報告があった。

5. 佐賀大学研究戦略アドバイザーボードの開催について

研究協力課長から、本学の研究戦略に資するため、外部アドバイザーを招いてアドバイザーボードを開催予定である旨の報告があった。

6. 佐賀大学における今冬の節電対策について

企画管理課長から、九州電力の要請もあり、夏季に引き続き節電に取り組むこととしており、節電目標及び節電対策事項について報告があった。

7. 全学委員会からの報告について

瀬口理事から、担当する全学委員会の検討状況について報告があった。

○意見交換

1. 学生支援機能の充実・強化（キャリア教育・就職支援など）について

学長から、本評議会では、テーマを設定し自由な意見交換の時間を設けることとしている旨の説明があり、前々回のアドミッションセンター、前回の高等教育開発センターに続き、今回はキャリアセンターから、本学のキャリア教育と就職支援について報告し、意見をいただきたいとの発言があった。

池上キャリアセンター長から、キャリア教育の義務化等が盛り込まれた、平成23年の大学設置基準の改正に対応し、本学でもキャリアガイダンスの実施をはじめ就職支援に取り組んでいること等が報告された。

続いて、緒方キャリアセンター教授から、担当する授業科目「キャリアデザイン」の受講学生から聴取したアンケート結果等を基に、学生の目的意識の希薄さ、キャリア教育関連科目に限らず大学教育全体がキャリア教育であることを学生に伝える必要性等について報告があった。

この件に関して、学部生では何年次に、どの時点で方向性を決めるのか、それを教員はどう指導するのか、学部学科ごとに相談できるような体制を整えてほしいとの要請等があった。

その他、企業によって求める学生の質に二極化が見られるとの報告、福井大学や金沢工業大学など、学生支援について積極的な大学を視察する計画があるとの報告があった。